



# McAfee Web Protection

## クラウド、オンプレミス、ハイブリッド環境に対応したWebセキュリティ

### 主な特長

#### 究極の柔軟性

- McAfee Web Gateway (オンプレミス アプライアンスまたは仮想マシン)のすべての機能とMcAfee Web Gateway Cloud Serviceを1つの契約で使用可能
- 現在のニーズだけでなく、将来の変化にも対応
- 配備方法に関係なく、ユーザー数をベースにした購入価格

#### 高度なセキュリティ

- 最高のマルウェア対策ソリューションであるMcAfee Web Protectionが特許申請中の技術を含む McAfee Gateway Anti-Malware Engineで動作分析を実行
- McAfee® ePolicy Orchestrator® (McAfee ePO™)、McAfee GTIとの統合

McAfee® Web Protectionでは、Webフィルタリングやマルウェア スキャンだけでなく、詳細なコンテンツ検査を行い、クラウド アプリケーションの使用方法をきめ細かく制御できます。また、組織の要件に合わせて柔軟に配備できます。オンプレミス ソリューションの管理を必要としている方も、柔軟性に優れた低コストのクラウド サービスを探している方、あるいは、この2つの組み合わせたハイブリッド環境を検討としている方も、McAfee Web Protectionにより、現状だけでなく将来的な変更にも対応できるWebセキュリティを配備できます。

Webの成長と進化に合わせて、Webを攻撃するマルウェアも高度化し、エンドポイントや重要データの脅威は増加しています。McAfee Labsでは、毎日数十万の新しいマルウェアを確認しています。リスクが増加している現在、このような変化に対応できる最高のWebセキュリティが求められています。現在のクラウド環境のWebを保護するにはプロアクティブで包括的なソリューションが必要ですが、Intel Securityの一部であるMcAfeeは、この点をよく理解しています。

### オンプレミス、クラウド、ハイブリッド

McAfeeでは、非常に柔軟な配備を可能にし、将来の投資を保護するため、**McAfee Web Gateway**と**McAfee Web Gateway Cloud Service**のすべての機能を1つのソリューション**McAfee Web Protection**として提供しています。オンプレミスには、拡張性に優れたハードウェアで配備します。クラウド環境には仮想アプライアンスとして配備します。この2つを組み合わせたハイブリッド環境では、エンタープライズクラスの柔軟性と可用性を実現できます。たとえば、本社と地域の拠点施設の従業員はハードウェア アプライアンスで保護し、リモート環境または移動中の従業員はクラウド サービスで保護できます。いずれの場合も、

McAfeeが提供する業界最高のマルウェア対策と包括的なWebフィルタリングを利用できます。ポリシーの同期を管理することで、すべてのプラットフォームで一貫したルール ベースのポリシーを施行できます。

### 高度なセキュリティ

McAfee Web Protectionは、様々な脅威検出技術を多層的に使用した保護対策により、ゼロデイ脅威や不正な攻撃を阻止します。McAfee Web Protectionは1つのプラットフォームで複数の技術を提供するので、最適な保護対策でセキュリティを強化できます。また、多くの組織が必要とする多層型のセキュリティ アプローチを実現します。詳細なコンテンツ検査により、ZIPファイルやPDF、グラフィックをスキャンし、潜伏するマルウェアを検出します。McAfeeのWebセキュリティソリューションは独立系調査機関のテストで99%以上の精度でマルウェアを検出・ブロックし、最高の結果を残しています。この高度な多層型セキュリティでは次の機能を提供します。

## 主な特長(続き)

### インバウンドとアウトバウンドの両方向の保護対策

- 包括的なWebフィルタリングデータベースを使用して組織のインターネット利用ポリシーを施行
- マルウェアなど、潜伏する脅威を迅速かつ効率的に検出する多層型のセキュリティ
- リモートユーザーのモバイルフィルタリング
- 1,600を超えるクラウドアプリケーションを管理

- **包括的なシグネチャベースのウイルス対策によるリアルタイム検出:** 最先端のウイルス対策とMcAfee Global Threat Intelligence (McAfee GTI) ファイルレピュテーションにより、リアルタイムの検出を実現します。ウイルス検出からシステム保護までの時間が大幅に短縮されます。
- **McAfee GTIのWebレピュテーションとWebカテゴリライゼーション:** McAfee Web Protectionは、レピュテーションとカテゴリによる強力なフィルタリング機能により、高度なWebフィルタリングと保護を行います。McAfee GTIは、McAfee Web ProtectionのWebフィルタリング技術を強化します。McAfee Labsが世界中から収集したデータの属性に基づき、インターネット上のすべてのエンティティ(Webサイト、メール、IPアドレス)にプロファイルを作成します。さらに、セキュリティリスクに基づいてレピュテーションスコアを割り当てるので、管理者は、許可または禁止対象に柔軟なルールを設定し、継続的な監視を行うことができます。コンテンツの動的分類により、以前に確認したWebサイトのコンテンツに不適切なカテゴリ(ギャンブル、ポルノ、ゲームなど)が追加されていないかどうか分析します。

- **プロアクティブな動作分析で、コンテンツの詳細検査をリアルタイムで実行:** 最高のマルウェア対策ソリューションであるMcAfee Web Protectionが特許申請中のアプローチで動作分析を行います。McAfee Web Protectionは、Webページのアクティブコンテンツをスキャンして、エミュレーションで動作の意図を予測し、ゼロデイ攻撃や標的型攻撃からエンドポイントを保護します。

## クラウドアプリケーションセキュリティ

クラウドアプリケーションへの移行が進み、クラウドITが増加しています。未承認のクラウドアプリケーションを追跡できないとデータ漏えいが発生し、金銭的な被害を受けるリスクが高まります。McAfee Web Protectionは、すべてのWebトラフィックの完全な可視性を実現し、1,600以上のWebアプリケーションを制御できます。アプリケーションリスクやユーザープロファイルなどのビジネス条件を使用してアクセスを管理し、制限できます。

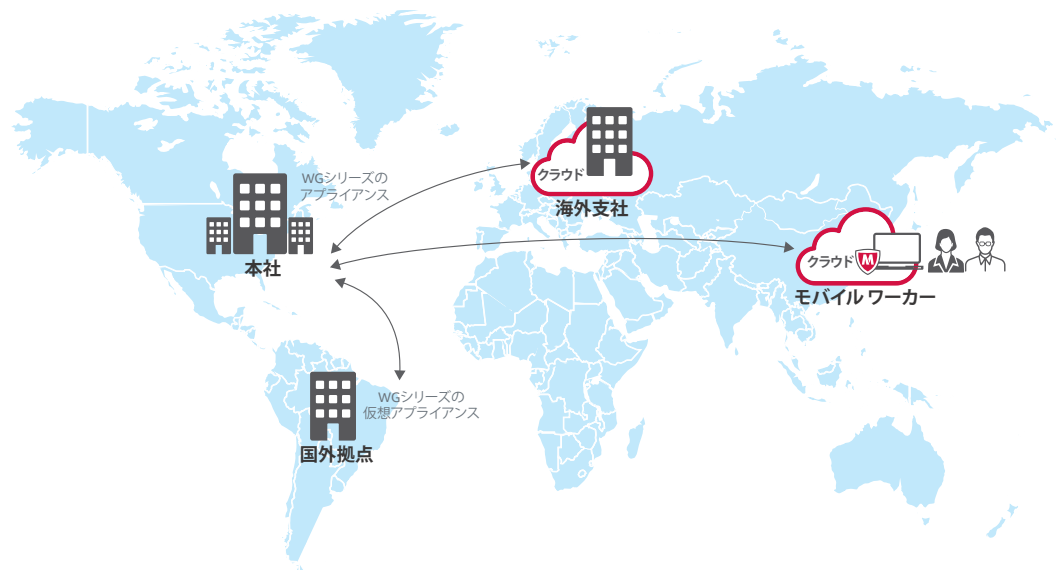


図 1. McAfee Web Protectionは非常に柔軟な配備オプションを用意しています。オンプレミス、仮想環境、クラウド、ハイブリッド環境にアプライアンスを配備し、高可用性を実現できます。

## データシート

### 進化する脅威状況

Webの脅威は巧妙化し、スパム、フィッシングメール、アドウェア、ソーシャルメディアなど、複数の方法で攻撃を仕掛けてきます。従業員が日頃使用しているファイルが使用され、本物と見分けがつかない場合もあります。McAfee Web Protectionは様々な角度から組織を保護します。

- ページ、ファイルなど、不審なものをすべて検査
- 世界で発生しているWeb脅威の29%~41%はスパムURL
- McAfee Labsが一日に検出している新しいマルウェアは平均で400,000個以上。

(出典: McAfee Labs)

### モバイル保護

職場の分散化やモバイル環境への移行が進む現在では、このような環境にもWebフィルタリングとWeb保護をシームレスに展開する必要があります。McAfee Web Protectionに含まれるMcAfee Client Proxyを使用すると、モバイルユーザーのWebアクセスを保護し、制御できます。このゲートウェアの統合ソリューションは、WebトラフィックをオンプレミスまたはクラウドのMcAfee Web Protectionに自動的にルーティングし、ポリシーを完全に施行します。

### 統合レポート

McAfee Web Protectionは、定評のあるセキュリティ管理プラットフォームであるMcAfee ePOに対応しています。McAfee ePOでは、様々な情報を統合して利用できるため、問題を迅速に識別し、コンプライアンス対応を改善することができます。McAfee ePOでは、McAfee Content Security Reporter拡張ファイルにより詳細なWebレポートを作成できます。

McAfee Content Security Reporterの統合レポートインフラを使用すると、異なるWeb保護対策からデータを収集できます。この情報とツールにより、組織のWeb利用状況を迅速に把握し、コンプライアンス対応や脅威の検出、問題の隔離を行うことができます。また、不適切なWebアクティビティを報告し、フィルタリングの設定を調整してWeb使用ポリシーを施行できます。ダッシュボードとドリルダウン機能により、Webトラフィックをオフラインで分析し、必要な機能を簡単に利用できます。McAfee Content Security Reporterは、リソースを集中的に使用する処理を外部の独立したレポートサーバーで実行し、データを保存するため、既存のMcAfee ePOサーバーに負荷をかけることはありません。世界中でビジネスを展開する企業でも、レポート要件に合わせて拡張することができます。

詳細については、<http://www.mcafee.com/jp/products/web-protection.aspx>をご覧ください。



### McAfee. Part of Intel Security.

#### マカフィー株式会社

東京本社 〒150-0043 東京都渋谷区道玄坂 1-12-1  
渋谷マークシティエスト 20F  
TEL 03-5428-1100 (代) FAX 03-5428-1480  
西日本支店 〒530-0003 大阪府大阪市北区堂島 2-2-2  
近鉄堂島ビル 18F  
TEL 06-6344-1151 (代) FAX 06-6344-1517  
名古屋営業所 〒450-0002 愛知県名古屋市中村区名駅 4-6-17  
名古屋ビルディング 13F  
TEL 052-551-6233 (代) FAX 052-551-6236  
福岡営業所 〒810-0801 福岡県福岡市博多区中洲 5-3-8  
アクア博多 5F  
TEL 092-287-9674 (代)

[www.intelsecurity.com](http://www.intelsecurity.com)

Intel、Intelのロゴ、McAfeeのロゴ、ePolicy Orchestrator、McAfee ePOは、米国法人Intel CorporationまたはMcAfee, Inc.もしくは米国またはその他の国の関係会社における商標です。その他すべての登録商標および商標はそれぞれの所有者に帰属します。Copyright © 2016 Intel Corporation. 1759\_0916  
2016年9月